

陳 情 文 書 表

受理番号	陳情3第3号	受理年月日	令和3年2月5日
件 名	目黒区ゼロカーボンシティ宣言に関する陳情		

【陳情の趣旨】

2050年CO₂（二酸化炭素）実質排出ゼロを目指すが目黒区が表明する（ゼロカーボンシティ宣言）ことを求める。

近年、酷暑や集中豪雨など気候変動の影響は身近な生活に及んでおり、世界全体が危機的状況になっています。これに対し、国内外の自治体や企業が、地域や自社で地球温暖化対策に取り組む動きも活発化しています。2015年に合意されたパリ協定では、「世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて2℃より十分低く保つとともに、1.5℃に抑える努力を追求する」という目標が国際的に広く共有されるとともに、2018年に公表されたIPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書においては、「気温上昇を2℃よりリスクの低い1.5℃に抑えるためには、2050年までにCO₂の実質排出量をゼロにすることが必要」とされています。

こうした目標の達成に向け、菅総理は2020年10月26日の所信表明演説において「2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにすること」を宣言しました。また、政府はそれに先立ち「2050年に温室効果ガス又は二酸化炭素の排出量を実質ゼロにすることをめざす旨を首長自らが表明又は地方自治体として公表された地方自治体」を“ゼロカーボンシティ”とすることとし、国内外に発信しています。2019年に「ゼロエミッション東京」を発表した東京都をはじめ、2021年1月13日時点では、全国の206もの自治体が「2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロ」を表明しています。

先日、小池都知事が2030年までの温室効果ガスの50%削減を目指すことを表明しました。目黒区では2030年までに温室効果ガス排出量の40%削減を目標と定め、2020年12月末時点では57の施設において再生可能エネルギーを利用していると報告を受けました。

つきましては、一層の気候変動対策に向けて、下記のとおり陳情いたします。

【陳情事項】

- 1 目黒区が2050年二酸化炭素排出実質ゼロ（ゼロカーボンシティ）をめざすことを表明すること。
- 2 表明の実行に向けて、目黒区の温室効果ガス削減目標を、2050年までに実質ゼロ、2030年までに現状の半減とするなど、目標引き上げに向けた検討を早急に行うこと。
- 3 目黒区の再生可能エネルギーを利用している区有施設を増やすこと。

4 区民への啓発を積極的に行うこと。